

◇ 日本史

日 2-1~日 2-13 まで 13 ページあります。

第 1 問 古代・中世の祭祀や宗教に関する次の文章 A～E を読み、下の問い(問 1～11)に答えなさい。

- A (1)前方後円墳をはじめとする古墳は、各地の首長たちの共通意識のもとにつくり出された墓制で、西日本を中心に出現し、やがて東北地方にまで広がっていた。
- B (2)末法思想の影響もあって浄土教がますます流行するなか、(3)藤原道長による法成寺など、中央の貴族たちも、極楽往生を願って寺院を建立した。
- C (ア)の官寺の制にならって五山・十刹の制が整えられた。また、(4)五山の禅僧には、中国に留学した僧や中国からの渡来僧が多かった。
- D 中国の高僧の(5)鑑真は、たびたびの渡航の失敗にも屈せず、日本に渡来し、日本仏教の発展に寄与した。その頃の日本では、(6)鎮護国家の思想に基づき、国分寺建立などの国家事業が進められていた。
- E (7)天台の教学を学んだ法然は、(イ)の教えを説き、のちに浄土宗の開祖と仰がれた。その弟子の(ウ)は、農民や地方武士の支持を得て、浄土真宗の基礎を作った。

問 1 下線部(1)に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 出現期の古墳のなかで最も規模の大きいものは、九州地方に集中している。
- ② 前期・中期の古墳は横穴式石室が多いが、後期になると竪穴式石室が増える。
- ③ 前期の古墳の副葬品は、銅鐸や石棒や須恵器など、呪術的・宗教的色彩の強いものが多い。
- ④ 中期の古墳の副葬品は、前期の古墳と比べて鉄製武器・武具の占める割合が高くなる。

問2 下線部(2)に関する説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 釈迦の死後の時代を分け、正法・像法の世を経て末法の世が来るという説。
- ② 神は仏が仮に形をかえてこの世に現れたものとする説。
- ③ 山岳修行によって呪力を体得できるという説。
- ④ 法華経の題目を唱えることで極楽浄土へ往生できるとする説。

問3 下線部(3)に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 宇治の別荘を寺として、平等院鳳凰堂を建立した。
- ② 4人の娘を中宮(皇后)や皇太子妃とし、朝廷で権勢をふるった。
- ③ 自筆の日記『小右記』が現存しており、この日記は近年、「世界記憶遺産」に登録された。
- ④ 後一条・後朱雀・後冷泉の3天皇のもとで50年にわたり摂政・関白をつとめた。

問4 空欄(ア)に入る国名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 唐 ② 元 ③ 明 ④ 南宋

問5 下線部(4)に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 彼らは禅だけでなく、水墨画など、様々な中国の文化を伝えた。
- ② 彼らによって、中央から地方へと能や狂言が広められた。
- ③ 彼らのなかには、中央の政治の顧問として国博士に登用される者もいた。
- ④ 彼らによって、東大寺南大門に代表される、中国様式の寺院建築が登場した。

問6 下線部(5)について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 池溝開発や道路建設などの社会事業を行い、民衆の尊敬を集めた。
- ② 東大寺を開いた。
- ③ 日本に戒律を伝えた。
- ④ 日本に暦法や彩色・紙・墨の技法を伝えた。

問7 下線部(6)に関する説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 文芸によって国家の隆盛を目指すという思想。
- ② 仏教の力により国家の安定をはかるという思想。
- ③ 仏と神は本来同一であるとする思想。
- ④ 自らを世界の中心とし、周辺諸国・諸民族を夷狄として見下す思想。

問8 下線部(7)に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 天台宗の密教は東密と呼ばれた。
- ② 教学の中心として、高野山の延暦寺が栄えた。
- ③ 空海によって天台宗に本格的に密教が取り入れられた。
- ④ 日本の天台宗は、最澄によって開かれた。

問9 空欄(イ)に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 只管打坐 ② 専修念仏 ③ 題目 ④ 遊行

問10 空欄(ウ)に入る人物として正しいものを、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 栄西 ② 親鸞 ③ 道元 ④ 忍性

問11 上の文章A～Eを古い順に並べ直した時、Aに続いて2番目に古いものはどれか。該当するものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

11

① B

② C

③ D

④ E

第2問 鎌倉時代から安土桃山時代の年号に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～14)に答えなさい。

A 鎌倉幕府の将軍(ア)が暗殺された後、年号は(イ)と改められた。2年後の(イ)3年、(1)後鳥羽上皇が鎌倉の(2)北条義時追討の命令を出す。鎌倉幕府の軍勢に攻められて敗れ、後鳥羽上皇は(ウ)に流された。

問1 空欄(ア)に入る将軍として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 藤原頼経 ② 源実朝 ③ 源義経 ④ 源頼家

問2 空欄(イ)に入る年号として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 永仁 ② 弘安 ③ 承久 ④ 宝治

問3 下線部(1)に関連して、彼が編さんさせた勅撰和歌集として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 『古今和歌集』 ② 『金槐和歌集』
③ 『新古今和歌集』 ④ 『万葉集』

問4 下線部(2)に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 相模国の出身である。
② 源頼朝の妻の弟であった。
③ 三浦泰村と戦い、これを滅ぼした。
④ 後鳥羽上皇の追討の対象となりながら、自ら京都に攻め入って勝利を収めた。

問5 空欄(ウ)に入る地名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選
びなさい。

解答番号

16

① 伊豆

② 隠岐

③ 佐渡

④ 土佐

B 鎌倉幕府を滅ぼして京都に入った(3)後醍醐天皇は、翌年に年号を(エ)と改めた。(エ)は中国の光武帝が(オ)王朝を復興した時の年号で、この年号を選んだのは後醍醐天皇の意欲の表れと言える。2年後の(エ)3年に年号は延元と改められるが、後醍醐天皇を破って京都を押さえた足利尊氏は、光明天皇を擁立して、もとの(エ)の年号を使用し、「(エ)(カ)」と呼ばれる当面の政治方針を示した。この後約60年間にわたって、京都の北朝と吉野の南朝とが対立する(4)南北朝の動乱の時代となったが、この間、両朝がそれぞれの年号を使用した。

問6 下線部(3)の天皇について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 持明院統の出身である。
- ② 即位してしばらくの間は、父の後嵯峨上皇が院政を行った。
- ③ 所領をめぐる争いなどを裁決する雑訴決断所を設置した。
- ④ 足利尊氏に幽閉され、京都で死去した。

問7 空欄(エ)に入る年号として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 観応 ② 元弘 ③ 建武 ④ 文保

問8 空欄(オ)に入る中国の王朝名として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 漢 ② 魏 ③ 秦 ④ 隋

問9 空欄(カ)に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 格式 ② 定書 ③ 式目 ④ 法度

問10 下線部(4)に関連して、動乱がおさまり、足利義満によって南北朝の合体が実現された年に、北朝方が使用していた年号として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

21

① 永享

② 嘉吉

③ 正長

④ 明德

C 室町幕府の将軍(キ)が織田信長と対立して敗れ、京都から逃亡した後、年号は、(5)天正と改められた。2年後の天正3年、織田信長は三河に進軍し、(ク)を破った。天正の年号は長く続き、天正20年に(ケ)と改元された。

問11 空欄(キ)に入る将軍として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 足利義昭 ② 足利義教 ③ 足利義尚 ④ 足利義持

問12 下線部(5)に関連して、天正の年号が用いられた時代に起こった出来事として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 豊臣秀吉が各地で検地を実施し、石高で生産力を表す制度を確立した。
② 楕円形の大型の金貨が鑄造された。
③ 法華宗の一揆が京都の町政を担ったが、延暦寺の僧兵らに攻められて没落した。
④ 安土城や大坂城といった巨大な城が築かれた。

問13 空欄(ク)に入る人物として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 今川義元 ② 武田勝頼 ③ 徳川家康 ④ 北条氏政

問14 空欄(ケ)に入る年号として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 永禄 ② 慶長 ③ 元和 ④ 文禄

第3問 江戸時代の社会・経済について述べた次の文章A～Dを読み、下の問い(問1～12)に答えなさい。

A (1)本百姓からの年貢徴収に財政基盤をおく江戸幕府は、3代将軍徳川家光の時代には田畑永代売買の禁令、4代将軍(ア)の時代には分地制限令を出すなど、さまざまな措置をとった。また、農民に対して自給自足的な生活を促したが、やがて質入れや質流れによる実質的な土地売買が行われ、農民層を分解していった。

問1 下線部(1)に関連して、田畑に対する税である年貢に対して、山林などからの収益や産物収入などを対象とした雑税の名称として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 小物成 ② 雑徭 ③ 高掛物 ④ 助郷役

問2 空欄(ア)に入る将軍として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 徳川家綱 ② 徳川家宣 ③ 徳川綱吉 ④ 徳川秀忠

B 佐渡・伊豆・(2)石見大森・但馬生野など主要な鉱山を直轄にして、貨幣鑄造権を独占した江戸幕府は、金貨・銀貨・(3)銭貨の三貨を発行した。17世紀末には、(イ)の建議を受けて発行された元禄金銀のように、幕府は、益金を得ることなどを目的として、貨幣の改鑄を行った。

問3 下線部(2)に関連して、石見大森・但馬生野で産出された主たる鉱物資源として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 硫黄 ② 金 ③ 銀 ④ 石炭

問4 下線部(3)に関連して、江戸幕府が鑄造した銭貨の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 永楽通宝 ② 寛永通宝 ③ 乾元大宝 ④ 富本銭

問5 空欄(イ)に入る人物として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 新井白石 ② 大岡忠相 ③ 荻原重秀 ④ 後藤庄三郎

C 1772年、(4)側用人から老中になった田沼意次は、行き詰まりをみせる幕府財政を建て直すために、年貢増徴のみに頼るのではなく、(5)民間の経済活動を活発にし、そこで得られた富の一部を財源に取り込もうとした。また、(6)蝦夷地の開発やロシア人との交易の可能性も調査させている。

問6 下線部(4)に関連して、側用人の立場から実権を握り幕府政治を左右した人物として最も適当な人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 阿部正弘 ② 井伊直弼 ③ 松平定信 ④ 柳沢吉保

問7 下線部(5)に関連して、田沼意次の採った経済政策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 越荷方と呼ばれる特定の商人らに生糸を一括購入させ、オランダの利益独占を排除した。
② 江戸や大坂の商人の力を借りて、印旛沼・手賀沼の大規模な干拓工事を始めるなど、新田開発を進めた。
③ 都市や農村の商人・職人の仲間を株仲間として広く公認し、運上・冥加などの営業税の増収を図った。
④ 南鐮二朱銀など定量の計数銀貨を鑄造させ、金を中心とする貨幣制度への一本化を試みた。

問8 下線部(6)に関連して、田沼意次の時代、蝦夷地の調査に派遣された人物として最も適当な人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 伊能忠敬 ② 大黒屋光太夫 ③ 間宮林蔵 ④ 最上徳内

D 1841年、(7)徳川家斉が死去すると水野忠邦が(ウ)の改革に着手した。忠邦は、同年、物価引き下げを命じるとともに、株仲間の解散を命じた。この政策は、株仲間以外の商人や在郷商人に自由な取り引きを認めて、(8)江戸や大坂への物資の流入を増大させ、物価引き下げを図ろうとしたものであったが、この措置は江戸への商品輸送量をかえって減少させる結果となった。また忠邦が老中に在職中の1842年、幕府は漂着した外国船への救援を認める(エ)を発した。

問9 下線部(7)に関連して、徳川家斉が将軍に就任した1787年から死去する1841年までに起こった出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① ラクスマンが根室に来航した。
- ② 関東取締出役が設けられた。
- ③ 島原の乱が起こった。
- ④ 大塩平八郎が大坂で蜂起した。

問10 空欄(ウ)に入る年号として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 安政 ② 天保 ③ 文久 ④ 文政

問11 下線部(8)に関連して、江戸時代には、江戸や大坂へ物資を運ぶために海上交通が発達した。このうち、蝦夷地や北陸方面の物資を日本海から下関を回り大坂へ運んだ廻船の呼称として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 北前船 ② 樽廻船 ③ 菱垣廻船 ④ 奉書船

問12 空欄(エ)に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 相对済し令 ② 異国船打払令 ③ 海賊取締令 ④ 薪水給与令